



開催要項

第53回

関東甲信越静
社会教育研究大会

山梨大会

令和4年度 山梨県社会教育研究大会

2022 11.10(木) ▶ 11(金)

【会場】甲府市総合市民会館(山の都アリーナ)他



山梨県
観光キャラクター
武田ひし丸

研究主題

新たな生活環境の中での社会教育のあり方を考える
～社会的包摂に向けた社会教育の果たす役割～

人を結ぶ
これからの社会教育

語ろう 甲斐の国やまなしで

1 大会スローガン

「人を結ぶ これからの社会教育
～ 語ろう 甲斐の国やまなしで ～」

2 研究主題

「新たな生活環境の中での社会教育のあり方を考える
～ 社会的包摂に向けた社会教育の果たす役割 ～」

社会的包摂とは、社会的に弱い立場にある人々をも含め、市民一人一人、排除や摩擦・孤立から援護し、社会の一員として取り込み、支え合う考え方。社会的排除の反対の概念。

3 開催趣旨

甲斐の武将武田信玄を私たち山梨県民は敬意を込めて「信玄公」と呼びます。信玄公は「人は石垣、人は城、情けは味方、仇は敵なり」という有名な言葉を残し、今も「武田節」の一節として歌い継がれています。

社会教育推進の基本方針は、ウイズコロナの時代にあっても、社会教育の原点である「人づくり、つながりづくり、地域づくり」であり、まさに信玄公と想いを一にするものといえます。昨今の「想定外」と言われる各地の大災害は、人と人、人と地域のつながりの重要性を再認識させてくれるものとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響により地域社会の先行きが不安視される今だからこそ、持続可能な開発目標（SDGs）の視点も大切にしながら、「誰一人取り残さない」包摂的な社会づくりを推進していくことが社会教育の果たすべき役割と考えます。

この2日間、ここに社会教育関係者がよっちゃばって（一堂に集い）、これからの社会教育についての語り合いが皆様のかけがえのない財産となり、活力ある地域社会づくりの礎となることを期待しています。山梨によっちゃばって話をするじゃんけ（集い、大いに語りあいましょう）。

- 4 **主催・共催** 一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会
第53回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会実行委員会
山梨県社会教育委員連絡協議会、山梨県教育委員会、甲府市教育委員会
- 5 **後援** 山梨県、甲府市、山梨県市長会、山梨県町村会、山梨県公民館連絡協議会
山梨県社会教育振興会 等（申請予定）
- 6 **参加費** 一人3,500円（参加資料代として）
- 7 **期日** 令和4年11月10日（木）～11日（金）
- 8 **参加対象** 関東甲信越静各都県・政令指定都市・区市町村の社会教育委員・社会教育担当職員及び社会教育関係者、生涯学習・社会教育に関心のある方

10 会場 【1日目】 全体会 甲府市総合市民会館（山の都アリーナ）
〒400-0867 山梨県甲府市青沼3-5-44

【2日目】 第1分科会 山梨県立図書館（1F イベントスペース西）
第2分科会 同上（1F イベントスペース東）
第3分科会 同上（2F 多目的ホール）
〒400-0024 山梨県甲府市北口2-8-1
第4分科会 防災新館（1F オープンスクエア）
〒400-8504 山梨県甲府市丸の内1-6-1
第5分科会 ベルクラシック甲府（2F ヴィクトリア）
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-1-17

※会場のガイドラインによる人数制限のため、申込時に分科会の希望をとり調整します。

11 日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
第1日目 11月10日(木) 【全体会】				受付	ア シ ト ラ ク シ ョ ン	開 会 行 事	記 念 講 演	シ ン ポ ジ ウ ム	閉 会 行 事	分 科 会 打 合 せ (関 係 者)
第2日目 11月11日(金) 【分科会】	9:00	10:00	11:00	12:00						
		受付	分 科 会 (分 科 会 ご と 閉 会)							

12 大会内容

【11月10日(木)】

11:30~12:15 受付

12:15~12:40 歓迎アトラクション

甲府市立甲府商業高等学校 ソングリーダー部

12:45~13:25 開会行事

13:30~14:50 記念講演

演題：「夢の実現 ～努力は裏切らない～」

講師：元ソフトボール女子日本代表監督 宇津木 妙子氏

15:00~16:50 シンポジウム

テーマ「新たな生活環境の中での社会教育のあり方を考える
～ 社会的包摂に向けた社会教育の果たす役割 ～」

[コーディネーター]

進藤 聡彦 氏（放送大学教授・山梨大学名誉教授）

[シンポジスト]

佐藤 悦子 氏（山梨県立大学名誉教授・山梨県看護協会会長）

長池 伸子 氏（特定非営利活動法人スペースふう 事務局長）

斎藤 和真 氏（特定非営利活動法人かえる舎 代表理事）

16:50~17:00 閉会行事



※物販等ブース及び県内社会教育委員・社会教育団体の活動紹介パネルを展示します。

【11月11日(金)】 受付 9:10～ 9:30

○ 分科会 9:30～12:00

	テーマ・サブテーマ/ 助言者	発表者・タイトル・概要	話題提供 (県生涯学習課)
第1分科会	<p>ひとづくり 「学校・家庭・地域の連携協働のあり方」～地域全体で子どもを育てるために～</p> <p><助言者> 山梨県立大学人間福祉学部 准教授 太田 研氏 (山梨県社会教育委員)</p>	<p>◆群馬県 井上 美智子氏 (館林市社会教育委員会 副議長) 「放課後子ども教室の開設に向けて ～地域学校協働活動への 社会教育委員としての取組～」</p> <p>◇放課後子ども教室の新規開設に向けて、社会教育委員として関わる中で見えてきた課題や今後どのような事業であるべきかについて協議を重ね、地域の子もたちや大人にとって互いに良い学びの機会となった取り組みを紹介します。</p>	<p>・ほっと！ネット セミナー</p> <p>・GIGA ワークブック</p> <p>・スマサポ</p> <p>(青少年保護育成担当)</p>
第2分科会	<p>つながりづくり 「つながりを基盤としたこれからの社会教育」～持続可能な「つながり」づくり～</p> <p><助言者> 身延山大学仏教学部 教授 伊東 久実氏 (キャンパスネットやまなし企画運営委員長)</p>	<p>◆栃木県 小太刀見代子氏 (鹿沼市社会教育委員の会) 「家庭教育でつながりづくり ～持続可能な組織づくり～」</p> <p>◇鹿沼市では、家庭教育啓発支援事業として、市内の小・中学校・民間団体で、持続可能な家庭教育の組織づくりを実施しています。これからの社会教育に求められる「地域を基盤に、つながりを持って地域をデザインしていくこと」について紹介します。</p>	<p>・幼児教育番組 「子育て日記」</p> <p>・やまなし読書活動促進事業</p> <p>(成人・家庭教育担当)</p>
第3分科会	<p>地域づくり 「魅力ある地域づくりの実現」～地域ネットワークを生かして～</p> <p><助言者> 身延山大学客員教授 望月 厚志氏</p>	<p>◆茨城県 鈴木 清進氏 (結城市社会教育委員会 副議長) 「つづいて一歩 ～社会教育委員自主研修会の取り組みから～」</p> <p>◇市内小学生から「歩いて行ける図書館がほしい」という要望が多くありました。そこで、地域の課題として、社会教育委員による、ゆうき図書館事業「としょかんたんけんツアー」への関わりと自主研修会の取り組みについて紹介します。</p>	<p>・フロンティアアドベンチャー「やまなし海洋道中」</p> <p>・やまなし若者まちづくりチャレンジ協働事業</p> <p>(青少年教育担当)</p>
第4分科会	<p>生涯学習 「人生100年時代の学びのあり方」～豊かな人生をおくるための生涯学習のすすめ～</p> <p><助言者> 山梨県社会教育振興会 会長 山田 勝彦氏</p>	<p>◆埼玉県 桑原 静氏 (さいたま市社会教育委員(合同会社)代表) 「できないことは増えるけど、できることがある。 長生き時代における場づくり」</p> <p>◇年を重ねても働いたり、学んだり、多世代で交流できる場「BABA1ab さいたま工房」の実践例や、テクノロジーを利用したシニアの学習の場の創出について紹介します。</p>	<p>・山梨県生涯学習推進センター (まなびネット)</p> <p>・山梨ことぶき勸学院</p> <p>(生涯学習・社会教育担当)</p>
第5分科会	<p>社会的包摂 「包摂的社会的実現に向けた社会教育のあり方」～多様な人々がかかわり合う社会づくり～</p> <p><助言者> 都留文科大学教養学部 准教授 富永 貴公氏 (山梨県社会教育委員)</p>	<p>◆山梨県 山本 睦氏 (甲州市社会教育委員の会 議長) 「高校生の目を通して地域を考えよう ～高校生と大人の本音の語り場～」</p> <p>◇地元の高校生が地域に対して感じていることを基にテーマを設定し、調査・研究を行い、社会教育委員と意見交換を重ねながら、これからの地域や自分たちの生活について考えを深めていった取り組みを紹介します。</p>	<p>・山梨県社会教育委員の会議 ～提言書～</p> <p>(生涯学習・社会教育担当)</p>